

---

# 名前 ~ 思い出のかけら ~

岩浅果奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

名前 ～ 思い出のかけら

### 【Nコード】

N8437A

### 【作者名】

岩浅果奈

### 【あらすじ】

「岩浅果奈。小学6年生。今日は卒業式。私達はもうすぐ中学生になる。いつもとなりにいた真澄に好きだと伝えたいけれど…」作者の小学校時代の恋のお話。

わたしは岩浅果奈。小学6年生。

今日は卒業式。私達はもうすぐ中学生になる。

わたしはたぶん皆と一緒にの中学には行かない。

中学受験をするから…。

そして合格してしまうだろうから…。

だからね、好きな人にちゃんと好きって伝えたい。

わたしは、真澄の隣にいた日々が、楽しかった。

せめて、『仲良くしてくれて、ありがとう。』

その言葉だけでも伝えたいの。

今隣の席にいる、真澄に伝えたいの。

だから神様、少しだけ勇気をください…。

真澄は、よく隣の席になっていた男の子。

真澄と最初に彼に会ったときは、別になんとも思わなかった。

「これがマスだよ」

って紹介されて、

「なす？」

て聞き返して怒られたっけ。

そのときは、ふ〜ん、てかんじだったけど。

それ以来、よく名前だからかいあって、遊んでたよね。

「ナスの味噌汁だ」

って言ってよく蹴とばされた。

わたしはいわさかなだから岩魚。

「魚だ、えら呼吸？」

なんて言われてたよね。

わたし、からかいあうその時間がすごく好きだったんだよ？

真澄は気付いてた？

それでだんだん真澄が好きになっていったんだよ？

秋に、わたしが高飛びの練習で、飛び方直されて飛べなくなったとき。

くやしくて泣いていたとき、見なかったフリをしてくれた。

他の人にも秘密にしてくれたよね。すごくうれしかった。

この間、私が友達の家連絡張届けた日、家の方向全然違うのに1回だけ一緒に帰れたね。

でも、その日他の子にもあったりして、少しだけ照れちゃったりもしたよね？

最後の席替えで隣になったときも、つい、

「また？」

って言っちゃったけど、本当は嬉しかった。神様をお願いしてた。

知ったら笑うかな？

神様、最後に彼の隣にいる権利をありがとう。

今日、最後の日隣の席に座れました。

あとはわたし次第…。

みんなは写真とりに出掛けちゃった後の教室で、まだ残っている真澄に話かけてみる。

「もうこの席も最後なんだね。」

「端っこの一番後ろ。俺たち好きだったよな。」

「真澄もやっぱそうっ？」

「言わなきゃ…。」

「真澄、あのね…。」

言葉が出てこなかった。

「真澄…。」

「言えない。」

「真澄…ありがとう」

それが精一杯だった。

「魚とはもう隣にはならないのかな」

それがどういう意味なのか聞けず、結局好きだとも伝えられなかった。

翌々日、入試を迎え、わたしは無事、県下きつての進学校に合格した。

春、私達は別々の中学に進んだ。

彼に最後に会ったのは、中1の冬。  
やっと、『好き』の一言が言えたけど、返事はわざと聞かなかった。  
こわかったから。

それ以来彼には会っていない。

同窓会で、高校に行っていないという話をきいた。  
知っていることも、それだけ。

だけど、10年の月日が流れた今でも、真澄はわたしの大切な思い出です。

今の彼には話そうか。

私に『岩魚』の名前をくれた、誰も知らない大切な思い出のことを  
…。

(後書き)

岩浅果奈です。生まれて初めて小説を書きました。そんなもの載せてよかったのか？不安です。読んでくださった心の広い皆様、ありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8437a/>

---

名前 ~ 思い出のかけら ~

2011年1月13日06時33分発行